

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月05日

計画の名称	J R 網干駅前地区のまちづくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	姫路市												
計画の目標	姫路市の「地域核」であるJ R 網干駅周辺において、交通結節機能の強化と商業機能の充実を図るため、土地区画整理事業により都市基盤の整備改善及び宅地の利用増進を推進するとともに、市西部の交通の要衝として隣接する市町に対する玄関口としてターミナル機能を形成することを目標とする。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)	132	A	132	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	J R 網干駅乗車人員を平成27年 (7,627人) と比較して約2%増加させる。 J R 網干駅の鉄道乗車人員を測定する。	7627人 / 日	7704人 / 日	7780人 / 日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	JR網干駅前都市再生区画 整理事業	区画整理 A=5.0ha	姫路市						132		-
		旧要素事業番号 : A-1																	
											小計						132		
											合計						132		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
姫路市において定量的指標の目標達成状況を確認。	令和4年8月
	公表の方法
	姫路市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	JR網干駅の利用者についてはH29当初現況値7,627人/日に対して、R3(H33)末数値(R3乗車人員)6,308人/日であり、約17%の減少となっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
本計画は、事業が未完了であったこともあり、指標は目標未達であったが、「姫路市における賑わいと魅力ある多核連携都市の実現」において、事業継続し、事業効果の発現および指標の達成を図っていく。	

(参考図面)

計画の名称	JR網干駅前地区のまちづくり	交付対象	姫路市
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)		

